

とちぎ創生^{いちご}15戦略（第2期）の改訂について

令和5（2023）年12月26日 総合政策課

1 概要

「とちぎ創生15戦略（第2期）」について、「とちぎ未来創造プラン」の次期プランとの一本化を見据えた計画期間の1年延長に伴い、成果指標及び重要業績評価指標（KPI）の変更やデジタル関連施策の追加などの改訂を行う。

2 改訂内容

(1) 計画期間の変更

【現 行】令和2（2020）年度～令和6（2024）年度の5年間

【変 更】令和2（2020）年度～令和7（2025）年度の6年間

(2) 成果指標・重要業績評価指標（KPI）の変更

次の①～④の考え方にに基づき、成果指標及びKPIを変更する。

① 「とちぎ未来創造プラン」と共通する成果指標及びKPIの目標値については、プランと同様の目標値とする。

② 上記①のうち、「新型コロナウイルス感染症の状況や影響を踏まえ、将来的に目標値の見直しを行う」としていた5つのKPIについては、実態に合わせて目標値を再設定する。

〔該当KPI：製造品出荷額等、観光消費額、観光客宿泊数、外国人宿泊数、鉄道・バス等の利用者数〕

③ 上記①、②以外については、達成状況等を踏まえながら、目標値を再設定する。

④ デジタル関連施策の追加を踏まえ、戦略15「未来技術を活用したとちぎづくり」にKPIを追加する。

〔該当KPI：ITパスポート試験合格者数〕

(3) デジタル関連施策の追加

国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を踏まえ、デジタル関連施策を戦略に追加し、積極的に推進する。

デジタル関連施策は、横断的目標「未来技術をとちぎの新たな力にする」の戦略15に追加し、基本目標1から4までの戦略全体をカバーする。

(参考) 経過

7月11日 第2回栃木県まち・ひと・しごと創生本部会議（計画期間延長の協議）

→ 第1回とちぎ創生15戦略評価会議（7/31）、県政経営委員会（8/2）、とちぎ地方創生推進会議（8/25）にて説明

10月24日 第4回栃木県まち・ひと・しごと創生本部会議（変更内容の協議）

→ 第2回とちぎ創生15戦略評価会議（10/27）、県政経営委員会（12/11）にて説明

12月26日 庁議（改訂の決定）

■成果指標・重要業績評価指標（KPI）の変更内容

分類：①とちぎ未来創造プランに掲げる目標値を設定、②コロナの影響等を踏まえた目標値を設定、
③達成状況等を踏まえた目標値を設定、④新たに追加したKPI

基本目標／戦略		成果指標 ((1)~(5)) ／KPI (1~38)	基準値	直近実績値	目標値		分類
					現行	変更案	
基本目標 1	とちぎに魅力あるしごとをつくる	(1) 県民所得（県民1人当たり）	H28(2016) 全国3位	R2(2020) 全国4位	R4(2022) 全国3位以上	R5(2023) 全国3位以上	③
戦略 1	ものづくり県の更なる発展と次世代産業の創出	1 製造品出荷額等	H29(2017) 9兆2,333億円	R3(2021) 8兆5,761億円	R5(2023) 10兆275億円	R6(2024) 9兆3,714億円	②
		2 創業支援等事業計画による創業者数（累計）	H30(2018) 347人	R3(2021) 384人	R5(2023) 500人	R6(2024) 525人	③
		3 商業・サービス業事業者の経営革新計画承認件数	H26-H30累計 110件	R2-R4累計 118件	R2-R6累計 120件	R3-R7累計 140件	①
戦略 2	成長産業へ進化する農業の確立	4 園芸産出額	H30(2018) 963億円	R3(2021) 863億円	R5(2023) 1,200億円	R6(2024) 1,230億円	③
		5 青年新規就農者数	H27-R1累計 1,287人	R2-R5累計 945人	R2-R6累計 1,565人	R3-R7累計 1,600人	①
		6 いちご生産者1戸当たりの販売額	H30(2018) 1,354万円	R3(2021) 1,342万円	R5(2023) 1,515万円	R6(2024) 1,531万円	③
戦略 3	林業・木材産業の成長産業化	7 林業産出額	H30(2018) 107.1億円	R3(2021) 125億円	R5(2023) 130億円	R6(2024) 135億円	①
		8 製材品出荷量（国産材）	H30(2018) 26.1万m ³	R4(2022) 25.3万m ³	R6(2024) 34.8万m ³	R7(2025) 35.0万m ³	③
		9 林業新規就業者数	H26-H30累計 220人	R2-R4累計 169人	R2-R6累計 258人	R3-R7累計 260人	①
戦略 4	戦略的な観光誘客	10 観光消費額	H30(2018) 6,297億円	R4(2022) 6,617億円	R6(2024) 7,168億円	R7(2025) 7,087億円	②
		11 観光客宿泊数	H30(2018) 827万人	R4(2022) 724万人	R6(2024) 888万人	R7(2025) 863万人	②
戦略 5	海外から選ばれるとちぎの創生	12 外国人宿泊数	H30(2018) 22.3万人	R4(2022) 4.6万人	R6(2024) 52.4万人	R7(2025) 27.4万人	②
		13 農産物輸出額	H30(2018) 3.69億円	R4(2022) 5.6億円	R6(2024) 9億円	R7(2025) 10億円	①

基本目標／戦略		成果指標 ((1)~(5)) ／KPI (1~38)		基準値	直近実績値	目標値		分類
						現行	変更案	
基本目標 2	とちぎへの新しいひとの流れをつくる	(2)	都道府県間人口移動数（日本人）	R1(2019) ▲3,518人	R4(2022) ▲1,621人	R6(2024) ▲1,759人	R7(2025) ▲1,759人	①
戦略 6	地域を支える若者の育成と定着促進	14	県内大学・短大への進学者割合	H30(2018) 28.0%	R4(2022) 27.8%	上昇を目指す	上昇を目指す	③
		15	県内大学生・短大生の県内就職率	H30(2018) 45.3%	R4(2022) 44.8%	R6(2024) 50.0%	R7(2025) 50.0%	③
		16	地域と連携協働した学習を実施している県立高校の数	R1(2019) 37校	R4(2022) 30校	R6(2024) 68校(全県立高校)	R7(2025) 68校(全県立高校)	①
戦略 7	立地環境を生かした企業誘致の推進	17	企業立地件数	H26-H30累計 185件	R2-R4累計 98件	R2-R6累計 190件	R3-R7累計 190件	①
戦略 8	とちぎへのひとの流れの創出	18	県及び市町で受けた移住相談件数	H30(2018) 4,465件	R4(2022) 7,122件	R6(2024) 8,350件	R7(2025) 9,000件	①
		19	とちぎUターン就職促進協定締結校における本県への年間就職者数	H30(2018) 1,033人	R4(2022) 1,054人	R6(2024) 1,240人	R7(2025) 1,250人	①
基本目標 3	とちぎで結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる	(3)	合計特殊出生率	H30(2018) 1.44	R4(2022) 1.24	R6(2024) 1.59	R7(2025) 1.59	③
戦略 9	結婚支援の充実	20	婚姻率（人口千人対）	H30(2018) 4.3	R4(2022) 3.8	上昇を目指す	上昇を目指す	①
		21	とちぎ結婚支援センターの会員数（累計）	R1(2019) 3,538人	R4(2022) 5,763人	R6(2024) 7,680人	R7(2025) 8,510人	①
戦略 10	妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援	22	妊娠・出産について満足している者の割合	H30(2018) 87.6%	R3(2021) 89.5%	R6(2024) 92.0%	R7(2025) 93.0%	①
		23	保育所等待機児童数（10月1日時点）	R1(2019) 169人	R4(2022) 35人	R6(2024) 0人	R7(2025) 0人	①
		24	放課後児童クラブ待機児童数	R1(2019) 65人	R4(2022) 14人	R6(2024) 0人	R7(2025) 0人	③
		25	子ども家庭総合支援拠点設置市町数	R1(2019) 2市町	R4(2022) 24市町	R6(2024) 25市町	R7(2025) 25市町	③
戦略 11	多様な人材が活躍できる環境づくり	26	総労働時間	H30(2018) 1,706時間	R4(2022) 1,712時間	R6(2024) 1,680時間	R7(2025) 1,675時間	③
		27	男性の育児休業取得率	H30(2018) 8.9%	R3(2021) 28.7%	R5(2023) 26.0%	R6(2024) 45.0%	③
		28	女性の就業率（15～64歳）	H30(2018) 31.6%	R4(2022) 35.1%	R5(2023) 35.0%	R7(2025) 40.0%	①
		29	高齢者の就業率（65歳以上）	H30(2018) 2.9%	R4(2022) 4.0%	R5(2023) 6.0%	R6(2024) 6.5%	③
		30	障害者の雇用率	R1(2019) 2.07%	R4(2022) 2.38%	R6(2024) 2.45%	R7(2025) 2.60%	①

基本目標／戦略		成果指標 ((1)~(5)) ／KPI (1~38)		基準値	直近実績値	目標値		分類
						現行	変更案	
基本目標4	とちぎに安心して住み続けたい地域をつくる	(4)	住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う県民の割合	R1(2019) 76.0%	R5(2023) 79.2%	R6(2024) 上昇を目指す	R7(2025) 上昇を目指す	③
戦略12	暮らしやすいとちぎの「まち」づくり	31	小さな拠点等取組件数（累計）	H30(2018) 14件	R4(2022) 27件	R6(2024) 43件	R7(2025) 45件	①
		32	鉄道・バス等の利用者数	H29(2017) 23.6万人	R3(2021) 16.9万人	R5(2023) 25.2万人	R6(2024) 24.6万人	②
戦略13	健康長寿とちぎづくりの推進	33	健康寿命	H28(2016) 男性72.12年 女性75.73年	R1(2019) 男性72.62年 女性76.36年	R4(2022) 男性72.87年 女性76.48年	R4(2022) 男性72.87年 女性76.48年	③
		34	特定健康診査実施率	H29(2017) 51.4%	R3(2021) 56.5%	R4(2022) 66.2%	R5(2023) 70.0%	①
戦略14	地域包括ケアシステムの推進	35	介護予防につながる通いの場への高齢者の参加率	H30(2018) 6.0%	R3(2021) 3.9%	R6(2024) 7.8%	R7(2025) 8.0%	①
		36	訪問看護事業所の訪問看護職員数（65歳以上人口10万人対）	H30(2018) 95人	R3(2021) 138人	R6(2024) 130人	R6(2024) 130人	③ (※)
横断的目標	未来技術をとちぎの新たな力にする	(5)	未来技術活用による地域課題の改善・解決事例数	—	R2-R4累計 7件	R2-R6累計 10件	R3-R7累計 10件	①
戦略15	未来技術を活用したとちぎづくり	37	未来技術を活用し地域課題の解決・改善に取り組む市町数	R1(2019) 7市町	R4(2022) 18市町	R6(2024) 25市町	R7(2025) 25市町	①
		38	ITパスポート試験合格者数	R2(2020) 536人	R5(2023)上半期 510人	—	R7(2025) 1,600人	④

※今年度末に策定する「栃木県保健医療計画（8期計画）」に基づき、来年度、目標値を変更する予定。

■ 戦略15「未来技術を活用したとちぎづくり」の変更内容

変更案	現 行
<p>▶ 未来技術の積極的な活用に向けた環境づくり</p> <p>【具体的取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ セミナーやシンポジウムの開催等による、様々な分野におけるA I、I o T等の未来技術活用に対する理解促進 ○ 地域における未来技術活用に向けた支援 ○ 5 G等の環境整備の促進 ○ 官民連携によるデータ利活用の推進 など 	<p>▶ 未来技術の積極的な活用に向けた環境づくり</p> <p>【具体的取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ セミナーやシンポジウムの開催等による、様々な分野におけるA I、I o T等の未来技術活用に対する理解促進 ○ 地域における未来技術活用に向けた支援 ○ 5 G等の環境整備の促進 など
<p>▶ 地域の課題解決に向けた未来技術の活用に対する支援</p> <p>【具体的取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ A I、I o T等の活用による<u>地域産業の生産性の向上や新たな付加価値の創出等</u> ○ M a a Sの構築による二次交通の利便性向上と環境負荷の低減 ○ 無人自動運転技術の導入による効率的な公共交通の運行の促進 ○ I C Tの導入促進による高齢者等の安全・安心の確保 ○ <u>地域課題を未来技術で解決するための仕組みづくりの推進</u> ○ <u>データ連携基盤による効率的なスマートシティサービスの提供</u> ○ <u>デジタル技術の活用による防災力の向上</u> など 	<p>▶ 実用化への支援</p> <p>【具体的取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ A I、I o T等の活用による<u>いちご生産をはじめとした農業の生産性向上、省力化を図るスマート農業の促進</u> ○ M a a Sの構築による二次交通の利便性向上と環境負荷の低減 ○ 無人自動運転技術の導入による効率的な公共交通の運行の促進 ○ I C Tの導入促進による高齢者等の安全・安心の確保 など
<p>▶ デジタル人材の育成・確保</p> <p>【具体的取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校におけるI C T活用及びプログラミングやデータサイエンスに関する教育等の推進 ○ I C Tリテラシー教育やデジタル・ディバイド対策の推進 ○ 県内企業等の生産性の向上や競争力の強化につながる人材の育成・確保 ○ <u>女性デジタル人材の育成・活躍の支援</u> ○ <u>市町のD X推進に向けた人材の育成</u> など 	<p>▶ デジタル人材の育成・確保</p> <p>【具体的取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校におけるI C T活用及びプログラミングやデータサイエンスに関する教育等の推進 ○ I C Tリテラシー教育やデジタル・ディバイド対策の推進 ○ 県内企業等の生産性の向上や競争力の強化につながる人材の育成・確保 など
<p>▶ デジタル・ガバメントの推進</p> <p>【具体的取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>電子申請システムの拡大等による行政手続のオンライン化の推進</u> ○ <u>デジタルマーケティングを活用した効果的な情報発信の推進</u> ○ <u>市町が取り組む行政手続のデジタル化への支援</u> など 	